

世界國盡

發端

世界ハ廣シ萬國は多しといへど大凡五に分けし名目は「亞細亞」「阿非利加」「歐羅巴」北と南の「亞米利加」に堺かきりて五大洲大洋洲ハ別にまた南の嶋の名稱なり土地の風俗人情も處變れハしなかはるその様々を知らざるは人のひとたる甲斐もなし學ひて得へきことなれハ文字に遊そふ童子へ庭の訓の事始まつ筆とりて大略をしるす所ハ

亞細亞洲

圓き地球のかよひ路は西の先にも西ありてまはれハ歸るもとの路環の端の際限なき「大平海」の西の方「亞細亞洲」の東なる我「日本」を始とし西のかたへと乗出しその國々を尋るに支那ハ「亞細亞」の一大國人民おほく土地廣くみなミに「印度」北ニ「魯西亞」東のかたハ「大平海」瀨戸を隔てて日本國九州肥前の長崎より「支那」の東岸の「上海」へ海路僅ニ三百里蒸氣船の旅なれ八十日の暇を費して往て歸るに餘あり南ニまはり「香港」ハ「英吉利」領の一孤嶋々にひらきし新みなと商賈繁昌土地にきはひ東洋一の港なりそもそも「支那」の物語往古陶虞の時代より年を経ること四千歳仁義五常を重して人情厚き風なりとその名も高かく聞えしか文明開化後過去り風俗次第ニ衰て徳を脩めす知をみかかす我より外に人なしと世間知らすの高枕暴君汚吏の意にまかせ下を抑へし惡政の天罰遁るるところなく頃ハ天保十二年「英吉利國」と不和を起し唯一戰に打負て和睦願ひし償ハ洋銀二千一百萬五處の港をうち開きなをも懲さる無智の民理もなきことに兵端を妄に開く弱兵ハ負て戦ひまた負て今のすかたに成行しその有様ぞ憐なり

「亞細亞」の南一面の海に臨める「印度地」は西と東ニ區別して西なる方ハ「後印度」東の方は「前印度」ここに名高き國々ハ「暹羅」「安南」「尾留滿國」其又北に「西藏國」政府をたてし國なれと人氣陋しく文字なく西洋人の侮を受けておそるる計りなり「暹羅」と「尾留滿」のあひたよりみなミに長き「滿落花」ハ「須磨多良嶋」と相對し東西僅か二十餘里間の海を「滿落花」の瀨戸と名けて萬國の船の往來も賑しく瀨戸を出れハ「印度海」北へ向て「辨輕」の入海深く入こめハ「小粟」の河の東岸ニ開きし都ハ「輕骨田」「英吉利領」の惣奉行「印度」地方を支配して軍艦商船數多く「亞細亞」諸國ニ「英吉利」の威勢かかやくミなもとハ前後「印度」の領地とそ「印度」の西の國々は「阿芙賀仁須丹」「土留喜須丹」ミなみの端の「尾留知須丹」獨立國の名あれとも風俗粗き夷狄のミ西に進て「邊留社」は世にも所謂古國なり紀元以前六百年「白洲王」といへる君隣の國をほろほして武威を「亞細亞」に轟かし次て二千有餘年時代移り物かはり一時「蒙古」に攻取られ千五百年のころにまた政府一度改り「富肥」の世とぞ唱へける

「邊留社」の入海へたて西のかた砂漠廣き「荒火屋國」南の方に「荒火屋海」北は「土留古」ニ堺

して西は「亞細亞」の陸の涯彼岸望めは阿非利加洲中をへたつる「西紅海」々の南の地續ハ「末洲」の地狹と名も高き百里はかりの鐵道の北に出れハ「地中海」「亞細亞」「阿非利加」歐羅巴「三國界の中の海々のひかしハ「小亞細亞」「尻屋」「雨仁屋」「羽禮須多院」惣名「亞細亞土留古」として「土留古」の國の領地なり

「志邊里屋」は「亞細亞」の北にひろかりて西ハ「宇良留」の麓より東の涯は「亞米利加」へ近くむきあふ瀬戸の水ミなみは「支那」ニさかひして北は邊なき北極海東西一千五百餘里南北凡八百里「魯西亞」の領地の廣大ハ世界萬國比類なしここに名たかき奉行所ハ西國筋に「戸保留須喜」東國筋に「伊留久須喜」南境の「喜阿久田」ハ「賣買城」に隣して「支那」と「魯西亞」の産物を互ニ易る交易場東へ廻はり「黑龍江」江尻に建し「仁古來府」我日本の蝦夷地より煙も見ゆる隣國東のかたは「御子突海」々に突きたす「嘉無薩加」「亞細亞」の東はてにけり

阿非利加洲 二

阿非利加洲

「阿非利加洲」の廣大ハ五大洲の第二番南北二千三百里西より東にいたるまでひろきところは二千餘里四方の海岸灣曲なく入海稀れに河少なく内地の様を探らんも船の往來の便なし唯海岸の一通り西洋人の詮索をつくせし丈の物語土地は廣くも人少くも少なき人も愚かにて文字をしらず技藝なく北と東の數箇國をのそきし外は一様に無智渾沌の一世界その國々を計るに「亞細亞洲」のさかひなる「末洲」の西の「衛土府都」ハ「阿非利加」一の一大國その古は土留古より支配受けし土地なれと今ハはなれて獨立國々の東西相分かれ中をなかるる「内留河」河の東の「海樓」ハ「衛土府都國」の首府なり河の彼岸をなかむれば雲にひいつる比羅三井天たかさ四百八十尺石を層たる石塔は「支那」の萬里の長城と聲價をきそふ古跡として尋る人の絶間なく「内留」の流さかのほりみなミに出てて「信野國」またその南「阿彌志仁屋」「西紅海」の瀬戸の口南東に「楚森國」「印度」の海を左に見赤道越えて南なる「三義原」と「茂山比丘」これ「阿非利加」の東國筋「茂山比丘」の港より海を隔てて「麻田糟輕」「印度海」の西方にひとり立たる嶋のくに人民四百七十萬西洋人も往來して商賣次第に繁昌し國の開化も近かきとそ「麻田糟輕」の西南「阿非利加洲」の陸の涯西に廻れば「喜望峰」望はてなき西海の風に颯めく旗影は記章違はぬ「英吉利領」「印度」地方へゆく船は長の海路の「阿多羅海」越えてしはしの碇泊に旅行の鬱をもなくさめん喜ひ望む峰とは舟子の情を汲取りて名を下したる文字ならん喜望峰の西のかた「發天戸池屋」「新部橋」上下「銀名」に「理部利屋國」又その北の二箇國は「志留良禮恩」に「瀬根賀宮」これ「阿非利加」の西國筋その國々の有様ハ東の國に異ならず中に一區の「理部利屋」ハ「阿非利加洲」の國柄に一種無類の共和政人民凡五十萬議事院たてて事を議し「北亞米利加」に流行の自由の風を移せしは暗き雨夜に一點の星の耀く如くなり北にまはりて一面に「地中海」の北岸へのそめる國の總名は「北阿非利加」の「馬留馬里伊」にしの端なる「茂祿子」は「阿非利加」一の一帝國氣候靜かに地味肥て天の恵ハ濃けれと君の政事の薄くして農を勤むる者もなし東に隣なる「阿留世里屋」人口二百五十萬今を去ること四十年「佛蘭西國」に攻取られ不羈獨立の名も絶えて佛より遣りし總奉行「わいす

ろい」とて威も猛く兵士軍艦數おほく二百餘萬の人民は佛蘭西帝の旗風を仰て靡くはかりなりこれより東「衛士府都」の間にならふ國々は「戸仁須」「戸里堀」「馬留加國」また其北に邊山國大略同じ夷狄人表ハ「土留古」に従へと名ありて實なき支配なり「阿非利加」の内地の様ハ知れざるも大概かきる國境南のかたに「越尾比屋」なかに「宗段」北にまた「佐原」の原となふるは世界中の大砂漠東西一千三百里南北凡四百餘里樹蔭も見えぬ砂の海ここに往來の旅人ハ駱駝の背を船に代へ數月の糧を貯へて北と南に渡るとそ砂漠離れて西北の海に出れハ「麻寺嶋」々の支配は「葡萄牙」葡萄の美酒の名所とて名高き土地ハみさるとも地の名に同じ麻寺酒ハ悦ふ人多からん麻寺に隣る「加奈里屋」ハ加奈里屋鳥の里なれハ嶋に啣る鳥の數四時かはらぬ春氣色小鳥の聲と嶋の名もともに聞る名所なり西に廻は「輪留田嶋」「輪留田」の南二千里淋しき「新都邊禮奈嶋」々に名所はなけれども「佛蘭西皇帝」「奈保禮恩」「和阿戸留樓」の戰に運命薄く打負て流罪になりし由來より嶋の名譽も聞えけり

歐羅巴洲 三

歐羅巴洲

「歐羅巴」土地は「亞西亞」に連れとその堺目を尋れば東の方に「宇良留山」々より出る「宇良留河」末は「裏海」に流込み「甲賀巢山」の麓より「黑海」越えて「地中海」「阿非利加洲」と相對し「治部良留多留」の瀬戸過て西ハ一面「阿多羅海洲」の南北二千里東西一千四百餘里内に列なる四十九の國の大小強弱も時勢に由て浮き沈み「魯西亞」「普魯士」「奧地利」英と佛との五ヶ國ハ當時日の出の五大國土地の廣裏を較れば五大洲の末なれと狭き國土に空地なく人民恆の産を得て富國強兵天下一文明開化の中心と名のみにあらず其實ハ人の教の行届き徳誼を脩め知を開き文學技藝美を盡し都鄙の差別なく諸方に建る學問所幾千萬の數知らず彼の産業の安くして彼商賣の繁昌し兵備整ひ武器足りて世界ニ誇る太平のその源を尋るに本を務る學問の枝に咲きたる花ならん花見て花を羨むな本なき枝に花ハなし一身の學に急くこそ進歩はかとする紆路共に辿りて西洋の道に榮る花をミン

「英吉利」は「佛蘭西國」の北の海獨り離れし嶋の國「蘇格蘭」「阿爾蘭」「英倫」の三國を合せて合衆王國と威名耀く一強國人民二千九百萬百工技藝牧田畑産物遺る所なく中にも多き鐵石炭蒸氣器械の源は用て盡きぬ無盡藏知恵極て勇生し水を渡るに蒸氣船萬里の波も恐なく陸地を走る蒸氣車は人に翼の新工夫飛より疾き傳信機瞬く暇に千萬里告て答る急飛脚内と外との新聞を互に聞て相傳ふ百の都會の中心は「廷武須」河畔の「論頓府」廣き世界ニ比類なき萬國一の大都會東西三千里南北は二里の間に立籠る軒端ハ櫛の齒を並らへ錐を立へき地もあらず人口二百八十萬往來群集雲を成し夜ハ三十六萬の瓦斯の燈火耀きて晦日の暗も人知らず晝夜絶なき馬車の聲四海の浪も音靜港ニ繫く萬國の船ノ遠望は森林木の葉を散らす河蒸氣河ニ架たる鐵橋を走る蒸氣車失の如く今朝見し友も夕にハ千里隔る旅のそら急く旅路ニ心せき悉しき事ハまたの日と名殘おしくも「論頓」を別れて南「堂宇留」の瀬戸の渡ハ九里餘わたり上れば

「佛蘭西國」西の界は「西班牙」東は「白耳義」「端西」東西二百六十里南北凡二百餘里南の方に

「地中海」々岸近き「虎留鹿」も合せて土地の廣大ハ「魯西亞」二次く帝位の國人口三千七百萬首府「巴里斯」の人別ハ唯「論頓」ニ及はねと市中の家の華美にして文字學校の繁昌は西洋諸國に類なし國の産物數多き中ニも「里園」の絹天鵝絨酒ハ「ぼるどう」「ちゃんばん酒」銘酒の種類三百種年に積出す石數ハ幾百萬の數しらす推してしるへし國の富國富ミ人の多けれハ保護の兵も亦多く軍艦大小五百艘陸の兵士は五十萬軍器戒服整て坐作進退の正しきは西洋一の強兵と名聲を得しも理なり

「佛蘭西」の西と南ニ「西班牙」國の都は「麻土律戸」往古ハ名高き國なれと人の性質懶りて勤むる心薄ければ稼の道もおとろへて國の産物多からず文明開化の有様を「英」と「佛」とに較へなハ遙數等の下ならん西に廻れハ「葡萄牙」「田楠」の河の河口ニ開きし港「里須盆」は國王住居の都なり土地の風俗盛衰は隣の國ニ異ならず文學技藝の流行も今ハ昔日ニこと變り目を驚かすものもなし

「里須盆」の港を去りて立戻り南東に乗出せは潮の流失の如き「治部良留多留」の瀬戸の口南北僅六七里南のかたハ阿非利加洲北ニ對する「歐羅巴」二大洲の國堺「治部良留多留」の要害ハ「地中海」の喉頭地理天險に從て築立たる砲臺は萬古不動の大磐石喉押て背を打つ「英吉利人の權勢は地中海に轟きて恐れ靡かぬものはなし瀬戸を廻れば「馬里留嶋」東の方の「猿路仁屋」獅子里越て「伊太里國」細く長く長靴に國の状を擬て獅子里嶋ハ靴先の指の處にあたるらん國の南北三百里北に聳る「阿留邊山」南ハ海に突出し時侯和らき地味肥えて四時の天氣快く嗤ふハ春の山の色歌ふは秋の水の聲山と川との趣ハ天下無類の好風景北の諸方ハやや寒く山田に殖る桑の苗民の稼は繭ならん西海岸ハ「羅馬領」法王御宇の靈地とて名所舊跡かすおほし

「伊太里國」の南より東へ渡り「希臘」は由來ひさしき國なれと今ハ風俗衰へて昔日の様のあとも見す北の隣ハ「土留古」とて人情粗らき一大國人口三千二百萬國の東西相分れ東は「亞細亞」を押領し本の政府は「歐羅巴」帝の威權限なく有司百官おしなへて酒色ニ耽る惡風俗知識とほしく威は猛く百千萬の生民ハ戰慄くはかりなり

「土留古」の北の塊地利「魯」「佛」ニ並ふ一帝國東へ灌く「馱入部」の河の畔の「宇陰奈」ハ皇帝臨御の大都會國に生ずる産物は五穀果實芋麻葡萄金銀銅鐵多しとそ北に出れば普魯士國人口一千八百萬民の教の行届き貴賤男女の差別なく文字を知らざる者ハなし文脩て武備起り兵士三十一萬人旭の昇る勢ニ四方の隣の國々も恐れて靡くはかりなり南の方の小國ハ「宇留天保呂富」「馬和里屋」等西の堺の「禮陰河」その源を尋れば山坂高かき「端西」國の政事ハ共和政小國なれと一樣に文字の教の繁昌し百工技藝手を盡し他の侮を被らす「禮陰」の流北に出その河尻の「和蘭」は一國中ニ山を見ぬひくき平地に河多く水患は來れとも人の知識の巧にて諸方に築く土堤塘田畑の業に出精し土地の産物少きも諸國へ渡る出交易人の衣食も饒なり西の隣の「白耳義」ハもと「和蘭」の土地なれハ其風俗も異ならず農工商の生産をつとめて倦まぬ人情は國の富強のしるしなり

「白耳義」去りて北の方ゆき付く先ハ「浬國」都は「骨廳波邊」とて國中一の交易場瀬戸を渡れハ端典「西の隣の「能留英」西と東の兩國を一二合せて一王國西の都は「錐須知屋奈」東ハ須

德保留武」として共に劣らぬ繁華の地二國の人を合すればその數四百三十萬北地の氣候寒くして開けし土地ハ稀なれと五穀菓實よく登り山より出る金類の中にも鐵は格別ニ世界無類の名品なり

「須德保留武」の港よりまきれ路なき眞東は帝國「魯西亞」の都なる「新都平土留保留府」なり抑「魯西亞」の領分ハ「亞細亞」「亞米利加」「歐羅巴」三大洲ニ跨て東西二千九百餘里南北凡一千里世界の土地を六ニわけ一を有てる一政府生殺與奪の權柄を握るは皇帝一人の手六千餘萬の人民の上に立たる無二の君四海の波も靜にて鎮る御世の治に亂を忘れぬ鑑明らかニ文武の教懈たらず兵士ノ數は六十萬國の諸方に設けたる八千九百の學校に九十五萬の稽古人學て習ふ藝術も次第に進む國の富々をたすくる産物ハ五穀獸類芋麻煙草「宇良留山」の麓には金銀銅鐵夥し出交易の繁昌ハ「英」「亞」諸國に及はぬも内に勤る農の業國の力は日に増し月ニ弘る堺の地北を守て南を攻め西ハ遙かに「黑海」より裏海の邊の國さかひ近くハ「支那」の滿洲も半は「魯西亞」に并せられ朝鮮國の堺まで勢せまる雙頭の鷲の旗影颯きて其成功を急かぬは雲雨の時を望む龍この行末の有様を今より圖り定めんは知者の見にも難からん

北亞米利加洲 四

北亞米利加洲

「亞米利加」は西に離れて新世界瓢子の状ニ横たはり北ハ「馬良尾」の岬より南の瀬戸の「麻瀨蘭」へ長さ四千二百餘里北とみなミの二大洲地理の續ハ「巴奈馬」なる地狹の亘二十餘里東のかたは「阿多羅海」にしに廻れハ太平洋」々の西なる日本より「北亞米利加」へ渡海して「雁保留仁屋」の港まで東西二千五百餘里世界無二の大洋なり北にまはれハ「魯西亞領」「北亞米利加」の西の隅支配の土地は廣げれと人民僅五六萬寒氣厳しく土地瘦て人の稼ハ漁獵のみ東の方へ離れたる「具理陰蘭土」「伊須蘭土」その本國ハ「噠國」北極ちかき寒帶の寒氣ニ積る千秋の雪や氷の間より煙吹出す噴火山實に珍しき景色なり

「英吉利」領の亞米利加ハ北極海の邊より南に隣る「合衆國」「北亞米利加を三にして其一分の土地なれと北は不毛の荒野にて人民僅十八萬處さためし家もなく無知文盲の野民のミ南東は「金田」の地氣侯次第に和らきて人民多く繁昌しみなミ境の湖水より流るゝ河ハ「老連洲」河の畔の「喜別久」に築建たる砲臺は金城湯池のかまへにて世の諺ニ「亞米利加」の「治部良留多留」ととなへけり河の流を溯り「門土里留」は河中の嶋に開きし交易場西に上りて「小田羽河」々のみなミに「小田羽府は「英吉利國」の代官所北ハ北極西方ハ「太平洋」の水濱よりひかしの方ハ「阿多羅海」「新見の國」の果までも一手に握る總奉行「北亞米利加」に「英吉利」の威勢を振ふ根本ハ「金田」地方の所領なり

普天の下ニ土地廣く卒土の濱ニ民多し億のミならぬ生靈の貧富強弱賢不肖その趣ハ異なれと耳目鼻口四枝の官是非曲直を分別し善に従ふ本心と學てすゝむ才能は一種無類萬物の靈に具る天の性千古不易の一大義こゝろを勞し身を役し他人の熱を假らされハひとへも貸さし我自由天の道理ニ基て國に報ゆる丹心の誠にいてし一國の不羈獨立の勢は留んとすれと止らず「北亞米利加」の十三州その本國の政府より威光を以て命したる名もなき貢税いたさ

しと告げんとするに便なく民に備る天然の自由の趣意も日々に蹙ることそ遺恨なる遺恨二遺恨かさなりて頼む所ハ天地の理頃は安永五年の秋十三州の名代人四十八士の連判状世界へ示す檄文に「英吉利王の罪を責め自から建てし合衆國武器兵糧も乏しき民數萬の敵は海を越え新手引替へせめ來る猛虎飛龍の勢におそれ撓まぬ鐵石のこゝろに誓ふ國のため失ふ生命得る自由正理屈して生きんより國ニ報る死を取らん一死決して七年の長の月日の攻守智勇義の名を千歳に流かす血の河骨の山七十二戰の艱難も消て忘るゝ大勝利目出度こゝに「英吉利」と和睦結ひし新條約々束固き政々體ありて主君なく天下は天下の天下なり四年交代の大統領上院下院の評議役一國中の便不便議り定めし法律の威ハ行はれ猛からず次第二進む國の富百工製作商賣は「英吉利國」と肩並らへ文教技藝學校は「佛蘭西國」の右にいて土地よりいつる産物ハ五穀獸類綿煙草葡萄果實甘蔗金銀銅鉛鐵石炭凡世間の日用に百物一も不足なし衣食を逐ふ人の情求め得易き活計をたつぬる人ハ四方より日に集り月ニ増し人口三千有餘萬新地開發おこたらす漸くひらく國堺東西一千三百里北と南に七百里十三州の本領も今ハその數三倍し三十六州立ひ立つその中心は「和新頓」府内に開く政事堂高さ二百八十尺衙門樓閣巍々として結構のこころなし西の世界ニ獨立し威をととるかす大國の議政爲政の源なれハその洪大も道理なり「和新頓」より北の方百里へたてて「入世留久」人口凡一百萬國中一の交易場其繁昌ハ「英吉利」の「論頓府」にも彷彿たり西にまはりて海岸の「雁保留仁屋」ハ金の里嘉永三年事始はしめて州を建てしより人戸俄に繁殖したみの稼は金山の業のミならず牧田畑百の職業忙しく太平洋の海岸にひとり繁華を誇るとそ

「女喜志古」の北の界ハ合衆國南東へ横たはり「女喜志古灣」ニさしそのミ「中亞米利加」に界して南北凡八百里東西三百三十里人口八百三十萬土地に生ずる産物は衣食の用に不足なし用ひてあまる金と銀世界中ニ積ミいたし富國利用の源ハ汲とも渴きぬ淵なれと政府の基固からず民の信仰淺くしてしはゝかはる政浮きつ沈ミつ國の亂民の開化に邊なし

「女喜志古」のみなミにつゝく數箇國ハ中亞米利加の地を占て割據自立の體なれと割けて互に分るれば各守る力なく彼我同力を約束し合へはたかひに一致せず唯時々の勢に流れ従ひ行末の治亂の程を圖られず「中亞米利加」の東方に群る嶋ハ「西印度」印度ニ所縁なき嶋を西の印度と名けしハ昔明應初年の頃世に名も高き「古論武子」西の世界を探るとき始めて見えし「猿和土留」「亞米利加」だにもいまた見ず「太平洋」のあらんとは夢にも知らずこの嶋を「印度」の端と認めて人に告げたる由來こそ西の印度の名のはしめ古今未曾有の大發明人の譽と嶋の名と共に傳る千萬歳千嶋の數の多き中世間の耳ニ慣れし名は「拜地」「邪麻伊嘉」「久場」「馬濱」時侯ハ熱く冬知らず土地の産物豊にて衣食足らさるものハなし砂糖骨非綿煙草「拜地」ニ多き芭蕉の實「久場」に製する巻煙草「葉羽奈」の銘の箱入は世界無類の名品なり

南亞米利加洲 大洋洲 五

南亞米利加洲

「巴奈馬」の地狹二十餘里「太平洋」と「阿多羅海」左右に分かる山の脈船の通の便なく南のはしの岬までまはれハ一千九百餘里陸ニ不毛の空地なく草木しける一大洲々に列なる國々

を北の方よりかそふれば共和政府の「古論備屋」南となりの「赤道國」赤道眞下の國なれと山阪高かき高野の地々の理を以て天に勝ち夏熱からず寒からず四時かはらぬ春の野に種蒔くときも刈るときも農の時節二遅速なし東の方に「部根重良」國の風俗政事地理山川の模様まで隣の國に異ならず又もひかしの「五井梁」ハ南北凡七十里東西二百六十里土地の廣裏を三に分け「蘭」「佛」「英」の三箇國各有つその一部西の世界の物をもて東の富をたすくとそ人の助を被らす不羈獨立の「武良尻」ハ人口七百七十萬「亞米利加洲」の南方ニ比類少き一帝國土地のひろさに較れば人口いまたおほからず深山の草木長茂り禽獸人に迫れとも次第二進む世の開化文字の教流行し未頼母しき風俗を遠く慕て居を移し集る人ぞ夥し東南の國々は「保里備屋」「巴羅貝」「宇柳貝」「良富羅多」越えて「巴多吳仁屋」土地の風俗人情も大略同じ共和政みなみの瀬戸の「麻瀨蘭」を渡上りて「火の國」ハ「亞米利加洲」の「喜望峰」西に廻れハ「池鯉の國」「安天須山」の麓にて南北八百三十里東西僅一百里天氣時候のよろしきは世界に比類多からず赤道以南の土地なれハ春夏秋冬異なりて我六月ハ彼の冬彼の炎暑ハ我の冬寒暑の順ハ戻れとも四時正しくおこなはれ百物成て豊なる國の人口二百萬諸州會議の共和政民の教育おこたらず諸方に建る學問所稽古の人數三萬人俄にすすむ文明は國の富強二伴てこの行末の幸福を期してまつこそたのしけれ「安天須山」のふもとよりきたに進めハ「平柳國」人口二百四十萬土地に生ずる産物ハ五穀金銀綿砂糖嶋二積りし鳥の糞別に貴き名品は平柳國の幾那の皮々より製す幾那鹽は天下無類の解熱劑熱二惱ミし病人は幾那鹽もちひ苦を忘れしこともおほからん假令病苦ハ忘るともわするゝ勿かれ地理の學物に従かひ事につき思ひ出すこそ學の道學ひし道をわすれしと再びここに繰返す世界中の國盡「亞細亞」「阿非利加」「歐羅巴」「亞米利加洲」の北南序を逐ひし五大洲その物かたり大略も學て時に習ひなハ居なから知らん世の名所々々舊跡洩らさしと古を温ね新しく發明したる島々を集てここに

大洋洲

太平洋の嶋々ハ幾百千の數知らず亞細亞洲の南方に海岸ちかく群るは「須磨多羅」「保留根尾」「爪哇」「瀨禮部須」「呂宋」「須拜洲」「新銀名」「西洋諸國支配の地赤道ちかき暖帯に生して餘る産物を遠くたつさへ本國の衣食に供へ富を足し富國利用の經濟は萬里の浪もおそれなく地理の學問航海の術を研かきし文明の勇と智識の功ならん南にひろき一世界昔日この地を見出せし和蘭人のほまれにて「新和蘭」と名けしか今ハ其名もあらたまり「英吉利領」の「澳大利亞」東西千里南北の廣きところは八百里人口一百四十萬廣き内地の有様をさくりし人も稀なれと物を生ずる土地多く新發明の金の山五大洲に比類なき「雁保留仁屋」の右に出で年二積出す黄金ハ幾千萬の限なし餘るを出し足らざるを入るゝ港ハ「女留保論」「志戸仁」の市の交易も日に賑ふ衣食住みなミの海の新世界榮る時そ近からん南の方に「多壽女仁屋」東にはなれ「地伊蘭土」皆「英吉利」の支配受け人口各十餘萬天氣時候も中和を得「新地伊蘭土」は「英吉利」の裏に當て本國とむかひ合する足の晝晝夜の時刻倒に「英」の夜半は此地の晝こにくるゝれハ彼地に明け「英吉利王」の領分に日の没したる時そなし「新地伊蘭土」の北東數千の嶋を通り越し赤道越えて北の方「山土逸地」の嶋々ハ人口僅七萬人土地は狭くも獨

立國「太平洋」の北方ニ獨はなれし地理を占め鯨獵船の寄處「王風嶋」の「花瑠々」ハ嶋に一の
交易場「英」「亞」諸國の船も入りいと出るの商賣に土地も次第に賑ひけり
世界國盡終